

## 2年 社会科学習指導案

指導者 横山 幸仁

### 1 単元名

第3部 日本の様々な地域 第3章 日本の諸地域 第1節 九州地方

### 2 目標

- 九州地方の自然環境の特色とそれを生かした諸事象に関する特色や関わりについて理解している。  
(知識及び技能)
- 他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、九州地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成する。(思考力, 判断力, 表現力等)
- 九州地方の自然環境と生活, 産業との関係について関心をもち, 九州地方の特色を主体的に追究しようとしている。(学びに向かう力, 人間性等)

### 3 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地図や資料から、九州地方の自然環境の特色やそれを生かした産業, 自然災害や防災への取り組みを読み取り, 九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色や, 人々の生活や産業と自然環境とのかかわりについて理解することができる。	自然環境に注目しながら, 九州地方に暮らす人々の生活と産業との関係について多面的・多角的に考察することができる。	九州地方の自然環境と生活, 産業との関係について関心をもち, 九州地方の特色を主体的に追究する。

### 4 指導にあたって

#### (1) 教材観

この単元の学習は、日本の様々な地域を地誌的に取り上げて、我が国の国土に関する地理的認識を深めるものである。そのために、空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目するなど、地域の特色を端的に示す地理的な事象を選択し、それを中核として内容を構成し、またその事象が他の事象とも関わっていることに着目し、それらを有機的に関連付けることで動的に取り扱うこと、調べ、探究する学習活動を通して、地域的特色や地域の課題を捉えるようにすることが大切である。このうち、自然環境を中核とした考察の仕方については、地域の地形や気候などの自然環境に関する特色ある事象を中核として、それをそこに暮らす人々の生活・文化や産業などに関する事象と関連付け、自然環境が地域の人々の生活・文化や産業などと深い関係を持っていること等について考察することが考えられる。

環境を生かした町づくり、都市形成は現在の2年生の総合的な学習に関連付けられる。

SDGsにおいて、7「エネルギー」9「産業」11「町づくり」13「気候変動」14「海」15「陸」等と関連付けられる。

#### (2) 生徒観

与えられた課題に対して、丁寧に必要な情報を調べることができる生徒である。特に教科書の文章等から、必要な情報を取り出し、まとめることについてはスムーズにできる生徒が多い。一方、資料の読み取りは慣れていない生徒が多く、複数資料からの読み取りと情報の整理・解釈については苦手とする生徒も多い。レディネスについて、生徒は昨年度「世界の諸地域」の学習を行っており、事象と事象の関連付け等については復習となる。

#### (3) 指導観

資料から情報を読み取らせること、資料から読み取った複数の情報を関連付け、事象について考

察する場面を設定し、丁寧に指導したい。その際にはペア活動等集団思考の場面の設定や、机間指導を充実するなど、困り感のある生徒への対応と、生徒の思考の深めるための発問の充実を行いたい。

また、カリキュラムマネジメントとして社会科だけでなく、総合や本校の教育目標のSDGsにも結びつけ、生徒の思考の深まりを期待したい。

## 5 単元の指導計画及び評価計画（総時数6時間）

次	時	学習課題とまとめ	評価基準	評価		
				知	思	主
1	1	九州地方の自然環境 ・九州地方では、地形や気候にどのような特色がみられるだろうか。 中央に九州山地があり、活発な活火山があり、火山が影響した地形もある。	地図や雨温図などから、自然環境を視点とした九州地方の特色を大まかに読み取り、九州地方の都道府県や地形の位置と名称を理解している。 ※（ノート・発言）	◎		
2	1	火山と共にある九州の人々の生活 ・火山は人々の生活や産業にどのような影響を与えているのだろうか 温泉や地熱発電、シェルターなど火山とともに生きる工夫をしている。	さまざまな資料から九州地方における火山の恵みや被害の実態について適切に読み取り、九州地方の自然環境を生かした産業や、災害、防災への取り組みなどを理解している。 ※（ノート・発言）	○		
	2	自然を生かした九州地方の農業 ・火山活動の影響を受けた土地や温暖な気候を生かして、九州地方ではどのような農業がおこなわれているのだろうか 火山灰の土地は稲作には向かないが、畑作や畜産を行い、北では二毛作を行うなど、環境に合わせた農業を行っている。	温暖な気候や火山との関連などの自然環境を生かした農業の特色について、多面的・多角的に考察している。 （ノート・発言）		○	
	3	都市や産業の発展と自然環境 ・九州の地理的特色は、都市や産業の発展にどのように影響したのだろうか 観光だけでなく、産業においてもアジアとの結びつきが強く、地理的な強みを生かした発展がある。	地図やその他の資料からアジアに近いことで都市や工業が発達してきた実態を適切に読み取り、その特色について様々な面から考察している。 ※（ノート・発言）		◎	
	4	南西諸島の自然と人々の生活や産業 ・南西諸島の自然環境は、人々の生活とどのように関わっているのだろうか 家づくり、農業等の産業など、沖縄の自然環境に対応した生活の工夫を行っている。	世界やアジアにおける南西諸島の位置や歴史が独特の文化や生活をつくりだしていることについて多面的・多角的に考察している。 （ノート・発言）		○	
3	1	節の学習を振り返ろう ・九州地方の自然環境は人々の生活や産業に	九州地方の地域的特色や九州地方の課題、これからの九州地方の在り方について主体的に探究・追究し			◎

	どのような影響を与えているのだろうか 自然環境を生かした産業や生活の様子が見られる。	ている。 (ノート・発言)			
--	---	------------------	--	--	--

6 本時の学習（2次3時）

(1) ねらい

アジアの国々に近いということが、産業の発展や環境にどのように影響したのか、資料をもとに考察できる。

(2) 学習過程

1～6 学習活動 ○主な発問 ◎深める発問 ・主な意識の流れ	時	●指導 ◇評価（観点）＜評価方法＞ *支援 【ICT】ICTの活用 研究の重点①重点②
<b>1 学習の課題をつかむ</b> ○九州の産業についての既習事項を確認する。 ・北九州工業地帯がある。 ・明治時代に八幡製鉄所が建てられた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">九州の地理的特色は、都市や産業の発展にどのように影響したのだろうか</div>	10	<b>重点① 見通しを持たせる工夫</b> 授業の流れとゴールを確認する。 ●導入で、既習事項(元寇)等の ICT を利用しながら、本時の課題をつかむ【ICT】
<b>2 自分で考える</b> ○資料から情報を読み取る。 ・八幡製鉄所は中国から鉄鉱石を輸入することを考えて、この場所に建てられた。 ・工業が盛んなため、1960年頃から公害が発生した。	8 12	●資料読み取りの分担をする。 *資料の読み取りについて、オクリンクを使用する【ICT】 *机間指導をし、困り感のある生徒にヒントを出すなど支援をする。
<b>3 自分の考えを伝え合う</b> ○意見を集約する ・海外から原料を輸入しやすい。そのため日本でも早くから工業が発達したが……。	8	*意見集約について、オクリンクを使用する【ICT】
<b>4 みんなで考えを深める</b> ◎出た意見を発表する ・中国に近いという特色を生かして工業が発達したが、そのため公害も発生した。	8	◇アジアの国々に近いということが、産業の発展や環境にどのように影響したのか、資料をもとに考察できる。 (思考判断表現) <ノート>
<b>5 「わかった」「できた」をまとめる</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">アジアの国々と近いという環境を生かして、工業が発展したが、早期から公害も発生した。現在ではエコタウンの取組など、環境に配慮した街づくりがなされている。</div>	12	*資料の着目すべき点について、示す。(B→C) ●問い返し発問等で産業と環境の関わりについて考えさせる。
<b>6 ふり返りをする</b>		<b>重点② 変容を自覚させる工夫</b> 授業で分かったことをノートに表現できる

(3) 参観の視点に関する工夫点

重点①では・・・既習事項と本時の学習をつなぐために ICT（オクリンク）を利用する。

重点②では・・・まとめ・振り返りで本時でわかったことを明確化させる。

SDG s に関して・授業で得た情報と SDG s との関連を考えるため、SDG s の目標を掲示する。

#### (4) 板書計画

<九州の地理的特色は、都市や産業の発展にどのように影響したのだろうか>

資料・グラフ等

資料・グラフ等

SDG s との関連  
まとめ

振り返り